

第4学年 体育科学習指導案

日 時 平成24年11月13日(火) 4校時

児 童 沼宮内小学校 4年1組 男11名 女10名 計21名
水堀小学校 4年 男3名 女2名 計5名
合計26名

指導者 T1 高橋 昭雄(沼宮内小学校)
T2 大久保照恵(沼宮内中学校)
T3 中舘 成子(水堀小学校)

ファミリースクール研究主題

『小・中学校連携による確かな学力の育成』

～小・中学校で共通の課題をもち、同一方向を見据えた指導を通して～

【研究主題に関わって】

授業改善を目指して重点として取り組むこと

- ①生涯にわたる豊かなスポーツライフと、社会生活における望ましい態度や行動、人間関係の基礎を育む指導のあり方
- ②運動の楽しさを味わわせるための指導のあり方
- ③効果的なチームティーチングのあり方と中学校教員(T2)の専門性を活かした授業のあり方。
- ④小・小合同授業による望ましい態度や行動、人間関係を構築する指導のあり方

1 単元名 すばやく、せめよう！ ハーフホッケー (E ゲーム ア ゴール型ゲーム)

2 単元について

(1) 児童観

沼宮内小学校の児童は、体育の学習に意欲をもって楽しく取り組む児童が多く、休み時間にも元気に体を動かして遊ぶことが多い。しかし、勝敗にこだわりすぎ友達を責める児童や外遊びをしようという意欲に欠ける児童、運動経験の少なさから体の操作が難しい児童もおり、心と体の両面において学級内でも大きな2極化が見られる。

水堀小学校の児童は、運動が好きで、短い休み時間にも進んで体を動かしている。また、みんなが規則を守って助け合いながら、仲良くゲームを楽しむことができる。しかし、経験のないことには消極的になり、譲り合ってしまうことが多い。

この単元の指導をとおして、町技であるホッケーの初歩的技能を習得させ、生涯スポーツとしての楽しさ・魅力に触れさせたい。また、小・小交流を踏まえ、友達を認めること、勝敗を受け入れること、積極的にゲームに参加することなど、態度面の育成を図りたい。

(2) 教材観

ハーフホッケーは、ホッケーを基にした易しいゲームである。ゴール型ゲームの特性として、「ドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを放ち、一定時間内に相手チームより多くの得点を競い合うゲーム」であることがあげられる。ホッケーにおいて、発達段階上、児童全員がスティックを使ってボールを操作することとコート内で攻守入り交じってゲー

ムをすることは、非常に困難であると考えられる。それらを容易にできるよう留意した上で教材化したゴール型ゲームが、ハーフホッケーである。

ハーフホッケーは、スティックを使って、ボールを上手に打つこと、パスを通すこと、シュートをきめることに楽しさと喜びを味わえるように配慮して単元を構成した。それでもスティックを使ってボールを操作することに難しさが残るが、上手にできたときは楽しさや喜びがさらに増すと考える。また、チームで話し合い、作戦を立てたり、協力してゲームをしたりすることで、小・小交流をさらに深め、町技への関心をともに高めることができる教材である。

(3) 指導観

本単元は、2校が同様に学習を進める必要があるため、1時間ごとに学習課題を明確に設定し指導を進める。第1時はオリエンテーションとして、スティックの持ち方や構え方など基本的な操作を体験させる。第2時はシュート、第3時はパス、第4時はパスからシュートの技術の習得を主な学習課題とする。また、第2時から第4時において、空いている場所に素早く動く感覚を高めるための運動としてジャマーを取り入れて並行して進めていく。第5・6時は、ハーフホッケーを行い、チームで作戦を話し合う活動と作戦をもとに練習する活動をする。特に第6時は、小・小交流、小中連携の機会を活かしたものになるように配慮し指導する。グループは、4チーム構成とする。水堀小児童が1～2名1チームに入るようにして、より交流が深まるようにする。第7時には、それまで学習したことをすべて活かして試合を行い、学習のまとめとする。

本時においては、3人の指導者による授業のよさを活かして指導にあたる。全体指導はT1が行い、学習課題を理解させ、見とおしをもたせて、2校の児童が学習活動に意欲的に参加できるようにする。T2は、よい動きをしている児童の紹介と作戦の立て方への助言に専門性が表れるように工夫し指導にあたる。T3は、水堀小児童が臆することなく学習に取り組んでいけるように支援しながら、配慮の必要な児童を中心に観察する。T1、T2、T3とも、本時の中でも連携し合い、励ましや賞賛をとおして力いっぱい運動を行わせ、本学区児童の課題とされる「ねばり強く最後までがんばろう」という気持ちを育てていくようにする。

3 単元の目標と単元の評価規準

(1) 単元の目標

- ①基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、易しいゲームができるようになる。 (技能)
- ②運動に進んで取り組み、規則を守り仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 (態度)
- ③規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができるようにする。 (思考・判断)

(2) 単元の評価規準

	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
評価規準 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ スティックでボールを操作することができる。 ・ 易しいゲームにおいて、空いている場所に素早く動いたりパスやシュートをしたりして、ゲームをすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① スティックでボールを操作し、パスやシュートなどをすることができる。 ② 易しいゲームで、空いている場所に素早く動くことができる。 ③ パスやシュートをして、易しいゲームをす

		ることができる。
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 易しいゲームに進んで取り組んでいる。 ・ 規則を守り、友達と励まし合ってゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしている。 ・ 用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・ 運動する場や、用具の安全を確かめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 易しいゲームに進んで取り組んでいる。 ② 規則を守り、友達と励まし合ってゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしている。 ③ 用具の準備や片付けを友達と協力して一緒にしている。 ④ 運動する場や、用具の安全を確かめている。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハーフホッケーのゲームの行い方を知るとともに、楽しくゲームを行うための規則を考え選んでいる。 ・ ゴール型ゲームの特徴に合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ハーフホッケーのゲームの行い方を知っている。 ② 楽しくゲームを行うことのできるよう規則や得点の仕方を選んでいる。 ③ 攻め方を知り、簡単な作戦を見付けている。

4 指導と評価の計画（7時間）

第4学年		ゴール型ゲーム	ハーフホッケー	
時間	主なねらい 学習活動	学習活動に即した評価規準（評価方法）		
		運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
1	1 F S 準備体操と用具の準備 2 類似運動 3 オリエンテーション <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習の進め方を知り、学習の見とおしをもつ。 ・ 学習内容を知る。 ・ 約束規則の確認 </div> 4 試しの運動 5 振り返り・片付け	③用具の準備や片付けを友達と協力して一緒にしている。 【観察】	①ハーフホッケーのゲームの行い方を知っている。 【観察】	
2	1 F S 準備体操と用具の準備 2 ゲーム「ジャマー」 3 学習課題の確認	④運動する場や、用具の安全を確かめている。 【観察】		①スティックでボールを操作し、シュートをすることができる。 【観察】
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> パスやシュートなどの初歩的技術を習得する。 </div>			①スティックでボールを操作し、パスをすることができる。 【観察】
4	4 タスクゲーム 5 振り返り・片付け		②楽しくゲームを行うことのできるよう規則や得点の仕方を選んでいる。 【発言・観察】	①スティックでボールを操作し、パスからシュートの連続した動きをすることができる。 【観察】

5	1 F S 準備体操と用具の準備 2 タスクゲーム 3 学習課題の確認 簡単な作戦を立てて、ゲームをする。	②規則を守り、友達と励まし合ってゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしている。【観察】	③攻め方を知り、簡単な作戦を見付けている。【作戦ボード・観察】	
6 (本時)	4 ゲーム① 5 作戦の話し合いや練習 6 ゲーム② 7 振り返り・片付け	②規則を守り、友達と励まし合ってゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしている。【観察】	③攻め方を知り、簡単な作戦を見付けている。【作戦ボード・観察】	
7		①易しいゲームに進んで取り組んでいる。【観察】		②易しいゲームで空いている場所に素早く動くことができる。【観察】 ③パスやシュートをして、易しいゲームをすることができる。【観察・振り返りカード】

5 本時の目標

- (1) ○規則を守り、友達と励まし合ってゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしている。
 (関心・意欲・態度)
 ◎攻め方を知り、簡単な作戦を見付けている。
 (思考・判断)

(2) 研究との関わり

- ①生涯にわたる豊かなスポーツライフと、社会生活における望ましい態度や行動、人間関係の基礎を育む指導のあり方
- ・3人の指導者が、友達と励まし合っていたり勝敗を受け入れたりして楽しく運動していること、望ましい態度や行動をとっていることへの価値付けを行う。
 - ・振り返りの段階において、T2が本時の学習課題と合わせて、今後の生活へとつながるような運動への望ましい態度や行動への価値付けについて話し、関心をもたせる。
- ②運動の楽しさを味わわせるための指導のあり方
- ・友達と作戦を立て練習してうまくできた楽しさと、力いっぱい運動し競い合う楽しさを味わわせるための指導を工夫する。
- ③効果的なチームティーチングのあり方と中学校教員(T2)の専門性の活かし方
- ・複数の目で見て、育てることの良さを念頭に置き、以下のとおり進める。
 - ・T1全体指導・・・学習課題を理解させる。話し合い励まし合う場を設定する。安全面やきまりについての指導をする。
 - ・T2技能面・思考判断面指導・・・作戦を立てさせる際、わかりやすい表現で、よりよい動きにつながるような助言と指導をする。
 - ・T3個別支援・・・主に水堀小児童が臆せず学習活動を行えるようにするための支援と配慮の必要な児童への支援や指導をする。

④小・小合同授業による望ましい態度や行動，人間関係の構築。

- ・作戦を話し合ったり，励まし合ってゲームをしたりする活動の中で，お互いの名前を呼び合わせ交流が深まるようにし，望ましい態度や行動，人間関係の構築へと繋がりをもたせていく。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 ◇評価	場・用具
導入 8分	1 運動の場や用具の準備，FS準備体操やタスクゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング後の時間を活用して，準備を効率よく行えるように支援する。 ・FS準備体操をしっかりと行わせる。 ・タスクゲームとして，前時の復習となるパス→シュートゲームをする。 	ホッケーゴール 2台 スティック人数分 ボール 多数 コート2面使用
	2 本時の学習課題を確認する。 作戦を立ててゲームをしよう！		移動黒板
展開 30分	3 ゲームのやり方を知る。 4 ゲーム①をする。 ・学習課題を意識してゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・規則の確認をする。 ・よい動きと望ましい動きをしている児童を紹介し，賞賛するようにする。(T2) 	作戦ボード
	5 ゲーム①を振り返って作戦を立てる。 ・作戦ボードを使って，作戦を考える。 6 作戦に基づいた練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のいない場所に動くことや、『ボールを持った人が▽▽したら，ボールを持たない人は，□□をする。』といった簡単な作戦を立てさせる。(T2) ・作戦の達成の目安となる助言をする。 ◇ 攻め方を知り，簡単な作戦を見付けている。 【作戦ボード・観察】 ・立てた作戦の動きを確認しながら行うように助言する。 	
終末 7分	7 ゲーム②をする。 8 ゲーム②を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦が成功したときの動きと，うまくいかなかったときの動きの原因を確認させる。 ◇規則を守り，友達と励まし合ってゲームをしたり，ゲームの勝敗を受け入れたりしている。【観察】 	
	9 学習のまとめをする。 ①学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の感想を，学習課題や交流のことなど観点を与える。 	
	②先生からの話を聞く。 10 整理体操と片付けをする。 11 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話を聞く ・ストレッチをして，筋肉をほぐす。 	

(6) 板書計画

今日のチャレンジ

⑥作戦を立ててゲームをしよう！

今日の準備

スティック	人数分
ボール	たくさん
コーン	12
ダンボール	0こ

ハーフホッケー名人に
なろう！

I 時間の流れ

- 1 準備体操
- 2 用具の準備
- 3 記録にチャレンジ
- 4 今日のチャレンジ (学習課題)
- 5 ゲーム① → ふりかえり (作戦)
- 6 ゲーム② → ふりかえり
- 7 まとめ
- 8 かたづけ

①用具の名前やかまえを覚えよう。

②シュートをしよう！

③パスをしよう！

④動きながら、パスとシュートをして
みよう！

⑤ハーフホッケーのルールを知ろう！

⑥かんたんな作戦を立てよう！

⑦正々堂々と試合をしよう！